

新規検査受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望に幅広くお応えするため、検査の新規拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

● CD30(IHC)

この度、CD30(Ber-H2)とベンタナ OptiView DAB ユニバーサルキットを組み合わせたベンタナ OptiView CD30(Ber-H2)が体外診断用医薬品として承認されましたので、受託開始をご案内致します。

検査要項

項目コード	検査項目名	保険点数	判断料	提出材料	検査方法	所要日数
3848	CD30 (IHC)	400 点	病理学的 検査判断料 (150 点)	ホルマリン 固定組織 又は 未染標本 スライド 2 枚	免疫組織化 学染色法	5~10 日

● CD30(IHC)の提出方法

1) 本検査はHQリンカーを用いた免疫組織化学染色により、悪性リンパ腫の診断補助を目的とした検査です。

2) 未染標本スライドでご提出の場合は、3~4 μ mの厚さに薄切し、シラン等のコーティングをしたスライドをご使用ください。

受託開始日

● 平成 29 年 12 月 1 日(金) 受付分より

※裏面をご覧ください

● CD30(IHC)

悪性リンパ腫診断の補助検査です。

CD30抗原は分子量 105～120kDa の膜結合型糖タンパクです。

正常組織では活性化B細胞およびT細胞に、腫瘍組織では古典的ホジキンリンパ腫のホジキン細胞、Reed-Sternberg 細胞、未分化大細胞リンパ腫などに発現が認められ、悪性リンパ腫の分類や鑑別診断に有用です。

悪性リンパ腫の治療は分子標的治療薬の登場によって大きく進歩しており、代表的なCD20抗原に対するモノクローナル抗体薬リツキシマブ(rituximab)は、B細胞性リンパ腫の治療と予後の大幅な改善を示しました。さらに製造承認された抗体薬ブレンツキシマブ(brentuximab)は、今まで再発例に対して標準的な治療法がなかったHodgkinリンパ腫や未分化大細胞リンパ腫への治療効果が期待されています。

これらの分子標的薬等の治療法選択に免疫組織化学染色は欠くことの出来ない検査となっています。この度、弊社でもCD30(Ber-H2)とベンタナ OptiView DAB ユニバーサルキットを組み合わせたベンタナ OptiView CD30(Ber-H2)が体外診断用医薬品として承認されている検査の受託開始にあたりご案内致します。

● 参考文献

長塩 亮 他 : 病理と臨床32(臨増) : 12～18, 2014. (検査方法参考文献)

- ・ベンタナ OptiViewDABユニバーサルキット能書
- ・ベンタナ OptiViewCD30(Ber-H2)能書